

第15回熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会の質疑応答について

時間：平成30年2月9日（金）13:30～15:00

場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
2階 「ストリングス」

質問、意見等一覧

- 問1) 明石委員〔仮設通路のバリアフリーと屋根の設置について〕
- 問2) 岸井座長〔仮設通路の期間について〕
- 問3) 山内委員〔工事中の案内表示について〕
- 問4) 高濱委員〔駅前広場の自転車の通行について〕
- 問5) 堀委員〔駅前の道路の交通渋滞について〕
- 問6) 岩井委員〔駅前広場の防災機能及びイベントについて〕
- 問7) 石橋委員〔駅前広場への市電乗入れについて〕
- 問8) 岩本委員〔石仏踏切及び熊本駅前の市電の電停について〕
- 問9) 岩本委員〔河川敷の利活用について〕
- 問10) 稲葉委員〔ペDESTリアンデッキ及び駅東口、西口のネーミングについて〕
- 問11) 高濱委員〔駅舎のコインロッカーについて〕
- 問12) 両角副座長〔駅東口、西口のネーミングについて〕

質疑応答

問 1) 明石委員〔仮設通路のバリアフリーと屋根の設置について〕

仮設通路を線路上に作るとのことだが、バリアフリーと屋根の設置についてどのように考えているか教えてほしい。

答) 熊本県熊本駅周辺整備事務所 西山課長

◇仮設通路の屋根については J R 九州と打合せ中で屋根を設置する方向で進めている。バリアフリーについても対応する。

問 2) 岸井座長〔仮設通路の期間について〕

仮設通路の期間はどれくらいか？

答) 熊本県熊本駅周辺整備事務所 西山課長

◇平成 30 年度末までの予定である。

問 3) 山内委員〔工事中の案内表示について〕

旅行者への案内を「春日人おてもやん」にて行っている。工事中は安全に配慮した旅行者向けの案内表示に取り組んでもらいたい。

答) 熊本県熊本駅周辺整備事務所 西山課長

◇ J R 九州と連携して進めていく。

問 4) 高濱委員〔駅前広場の自転車の通行について〕

熊本駅白川口駅前広場で自転車の乗り入れはしないようにするのか？イベント等で人が集まるときに自転車が自由に通るのは危ないと思う。自転車はどこを通るのか？歩行者と自転車をきちんと分けたほうがいいのではないか？また、仮通路の屋根及び段差の問題は解消してもらいたい。デザイン性も大事かもしれないが、白川口と新幹線口も雨のときは役に立たない形のため、そのあたりはよろしくお願ひしたい。

答) 熊本市熊本駅周辺整備事務所 中村副所長

◇自転車の通路については電車通り沿いを進んでいく。駅前広場については、自転車は基本押して入ってもらう。自転車で入ってくるところに駐輪場も考えていきたい。新幹線口についても自転車が通行しているとのことのため、今後どのような手法で管理するのか考えていく。駐輪場については現在駅の

北側と南側にあるが、今回は新幹線と在来線の高架下に広い空間ができるため、J R九州と協議し駅の北側、南側に駐輪場を分散して配置する計画を立てている。シェルター計画については、機能的でかつデザイン的なものということで機能を先ず考えた上で計画していきたいと考えている。

問 5) 堀委員〔駅前道路の交通渋滞について〕

駅前の交差点について、解析は将来需要を見越した形で平面交差として渋滞しないのか？

答) 熊本市熊本駅周辺整備事務所 中村副所長

◇道路については将来交通量を考えて計画している。J R九州と連携し駅ビル開発も考慮した上で解析し渋滞はしない結果となった。こちらについては交通管理者との協議を行っているところである。

問 6) 岩井委員〔駅前広場の防災機能及びイベントについて〕

防災機能について、どのあたりの範囲までターゲットにしているのか？どのような防災を考えているのか？合同庁舎等周辺の施設との機能分担・役割についてはどう考えているのか？また、イベントについては、イベントを開催する主催者の顔が見えているのか？エリマネの団体や民間の方々顔が見えながらやっているのか？そういった動きも同時平行でやっているのか？

答) 熊本市熊本駅周辺整備事務所 中村副所長

◇1点目の地震が起こった直後、建物から出てきてもらう空間として駅前広場のスペースを確保したい。そこに必要な非常用電源や水、テントを設置するフック等を考えていきたい。発災後にボランティアの方々を第一次受付で仕分ける空間として駅前広場を活用したいと考えている。駅前広場の活用については、民間のNPOの団体等と今どのようなものがほしいのかについて調整中である。防災面で将来どういう形で考えていくのかについて、今は駅前広場と考えているが、J R熊本駅ビルができるのでエリア防災計画という面で周りの方々に例えば熊本駅ビルの物資を提供してもらう等そのあたりの協定を結べないか等今後広げていきたい。合同庁舎、森都心プラザ、春日小学校との役割分担についても、地震時はどこ、水害時はどこ等エリア防災計画を固めていきたいと考えている。

2点目のイベントについては、駅前広場がJ R九州と熊本市の協定広場になるが、J R九州での管理を考えており、九州各地のイベントの事例や元々駅前にあった朝市の復活等も見据えて利用しやすい広場にしていきたいと考えている。

ている。

問 7) 石橋委員〔駅前広場への市電乗入れについて〕

今のレイアウトで落ち着く形になるのか？駅前広場が拡張整備し 40m後退することが欠点として残る。これは私たちが一番懸念する事項である。今でもかなりの駆け込み乗車があり非常に危ない。高齢者が 40m走っていかないといけないことが起こったり、気候条件によって非常に耐えがたいものがある。シェルターについて、蛇行した屋根は密閉式になるほど邪魔になる。このレイアウトとみると非常に落ち着いていて動線についてはいい形だと思う。白川口にスペースがあるが、そこに市電を直接乗入れて駅舎の中に入っていれば、このレイアウト案で市電の乗入れが可能ではないかと考える。

答) 熊本市熊本駅周辺整備事務所 中村副所長

◇市電を乗入れるとタクシーや人との交錯、交通安全上危険な箇所があることが1点、市電を乗入れて市電は熊本駅が終点ではなく田崎まで行くため、利便性が低下することが1点、その2点から市電の駅舎乗入れは断念したところである。今回、レイアウトがこのような形になったが市電の駅舎乗入れを再検討するという考えは事務局としてはない。

市電を乗入れると電車はすぐには止まれないため、安全性に課題が残るというのが1点、市電を乗入れると2方向に分かれてしまいかなり朝夕混雑しており、市電が駅舎に入ることによって利便性が高まるのかという点で課題が残るというところで断念した。しかし、今よりも更に 40m距離が伸びるといふことで高齢者の方々や身障者の方々のことも考えていきたいと思っている。

答) 岸井座長

◇駅前広場に市電を乗入れる際に警察のほうから、現状市電の線路を横断する箇所を踏切状にするようにや柵を設けるように等安全に対する強い要望が出ているのが実態である。市電を乗入れると駅前広場が分断される状況が解決できないため、市としては今回無理だろうと判断したと伺っている。

問 8) 岩本委員〔石仏踏切及び熊本駅前の市電の電停について〕

連続高架になり踏切がなくなってきたが、古町校区の石仏踏切が残っている。これが今後どういうふうに進展していくのか教えていただきたい。もう1つは熊本駅前の学生たちが信号を渡ってきたときに青信号で渡りきれず市電の線路の上にとくさん溜まっている姿をよく見かける。電停の幅をもう少し広くすれば良いのではないかと。または、信号のあり方について考えていただければと思う。

答) 熊本市熊本駅周辺整備事務所 中村副所長

◇1点目の石仏踏切について、道路を立体交差することで都市計画決定されている。

2点目について、今回市電の電停を若干南側に移動し市電を降りられる方を市電の前を通過して渡すような形、信号を通らずとも市電の乗降客が駅に行けるような形を考えていきたい。交通局及び運輸局と協議を行っているところである。こちらも駅前広場の完成形の中で一緒に解決したいと思っている。

問9) 岩本委員〔河川敷の利活用について〕

これから先の河川敷の利活用のあり方について、子供、大人、高齢者の健康づくりに利活用できるようないいアイデアを出していただきたい。国、県、市と連携をとってやっていただきたい。地元も協力できることはやっていきたいと考えている。

問10) 稲葉委員〔ペDESTリアンデッキ及び駅東口、西口のネーミングについて〕

1点目は、駅で降りた方が東A地区の図書館へ行きたいと思ってもペDESTリアンデッキが行きづらい。今後駅を利用する方が非常に多くなると思うが、動線としては下に横断歩道がないためどうしてもペDESTリアンデッキを使う必要がある。もっと利活用しやすいようにシェルターも含めて一度ご検討いただきたい。

2点目は、白川口の駅前広場について、本格整備の完了時に熊本に初めて来る観光客が今の白川口というサインで分かるのか？例えば熊本城とか阿蘇とか何か分かるようなサインに変えることは可能なのか？そういうことを話し合う協議の場があるのか？について伺いたい。

答) 熊本市熊本駅周辺整備事務所 中村副所長

◇1点目の要望について、ペDESTリアンデッキの先の図書館及び2階の施設等が熊本市の施設のため、熊本市の施設の利便性の向上、熊本市が作った再開発であるため、ペDESTリアンデッキをどのような形にすればいいのか今後引き続き考えていきたいと思っている。

2点目のサインについて、駅周辺デザイン会議ワーキングの中で、熊本の3名の先生方にワーキングに関わっていただき色々な議論を行っている。その中で、サイン計画についても議論しており、そこで議論して出てきた形をこのまちづくり推進協議会で説明させていただきたいと考えている。

問 11) 高濱委員〔駅舎のコインロッカーについて〕

コインロッカーはどのようになるのか？現状、連休の時はロッカーが足りない。外国の方はとても大きな荷物を持って来られるため、そういう方々のためのロッカーをどのように考えているのか？また、在来線側は 100 円玉しか使えないためそのあたりも考えていただきたい。

答) J R 九州 中村部長

◇コインロッカーについては、J R 九州においてもお客様の声として一番多い事情であり、現在の利用状況も含めながら計画をしている。通常は 300 口あれば現状をみると熊本駅としては足りるかと思う。コインロッカーを計画しているのは、在来線の改札を出て表の所の階段で隠れる壁への埋込み、新幹線のガラスで外が見えている部分の壁沿い、コンコースを出て左側高架下に壁を打つての 3 ヶ所で 300 口のコインロッカーの設置を計画している。新幹線と在来線を抜けた正面のトイレの横にもコインロッカーを設置しようと考えている。お店の営業時間に限られるが、買い物をする方が少し預けるためのコインロッカーをお客様が多い時の補填としても用意している。もう一つは観光案内所の横にクロネコヤマトの宅急便のコーナーをクロネコヤマトに作ってもらう。基本的にはお土産を買った方が宅急便で送ったり、大きな荷物を家に送ったりする方がメインになってきて、今後の話だがお客様が多い時はコインロッカーではなくて臨時的荷物預かりをできないかクロネコヤマトと勉強していきたいと考えている。人手不足の面もあるため需要と供給を見ながら柔軟に対応していこうと思う。現駅舎の在来線側のコインロッカーの件については、担当部長に伝えておく。

問 12) 両角副座長〔駅東口、西口のネーミングについて〕

先ほど白川口や新幹線口という案内は出るが、お城への案内等ネーミングの話についてはどこか議論の場はあるのか？

答) 熊本市熊本駅周辺整備事務所 中村副所長

◇白川口を決める際もトップ会談の中で議論し決めさせていただいている。今から変更というのは厳しいと思う。